

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年度6月30日

1. 活動テーマ

<テーマ>

2歳児…トウモロコシの葉に触れてみよう

<テーマ設定理由>

園庭の花壇やプランターに植えてある花や野菜に興味を示す姿が見られたため、夏野菜の1つであるトウモロコシの葉に触れてみようという今回のテーマを設定した。また実際に触れてみることで野菜への興味関心も深まるのではないかと考えた。

2. 活動スケジュール

- ・室内で4人ずつ行う。
- ・導入では初めに「みっちりつぶつぶとうもろこし」の絵本を見せて、トウモロコシへの興味を引き出す。
- ・目の前に一人1本ずつトウモロコシの葉を置き、保育士と一緒に触れいていく。
- ・葉を剥いたり、千切ったり、中から出てきたトウモロコシの匂いを嗅いだりして探究活動を進めていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・テーブル1台と椅子4脚
- ・テーブルの上に敷くシート
- ・テーブルの上下左右に囲いを1枚ずつ置き、探究活動に集中できるような環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・1グループ…葉やトウモロコシに興味を持っている子が多かった。指先を使って長くて大きい葉を一枚一枚上手に剥き、葉を引っ張って千切ったり、両手で小さいトウモロコシを半分に折ったりしていた。
- ・2グループ…葉を小さく千切ったり、トウモロコシを爪で引っ掻いて一粒ずつ細かくしたり、粒と葉を混ぜたりしてまごごのようなことをしていた。葉よりもトウモロコシの粒に興味を示している子が多かった。
- ・3グループ…葉を左右に振ってヒゲを揺らしたり、葉についたヒゲを引っ張って取ろうとしたりしていた。また、クレヨンで絵を描くように机の上でトウモロコシをぐりぐりとしている子もいた。葉やトウモロコシよりもヒゲに興味を持っている子が多かったように感じた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・両手で葉を掴み、左右に引っ張って葉を千切ろうとするがなかなか千切れない。
- ・片手でトウモロコシを持ち、もう片方の手の指でバナナの皮を剥くように一枚一枚綺麗に葉を剥く。
- ・トウモロコシのヒゲを触り「ラーメンみたい」と言ったり、ヒゲをトウモロコシの上に乗せて「マヨネーズ」と言って別の物に見立ててまごご遊びのようなことをしていた。
- ・葉の中からトウモロコシが出てくると「コーンだ」と言って喜んで取り出し、トウモロコシの上で指を滑らせて粒の感触を楽しんでいた。
- ・初めは千切ったり、むしったりせずに葉がついたトウモロコシを左右に揺らしたり、机の上で叩いたりして音を楽しんでいるようだった。保育士が途中で剥いた葉からトウモロコシを取り出し、机の上でゴロゴロと転がしたり粒を指でつまんだりしていた。
- ・トウモロコシを鼻に近づけて匂いを嗅ぐ。「いい匂いがする」と言って繰り返し匂いを嗅いでいた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

グループごとによって興味を示す視点が違ったことに驚いた。1グループは葉やトウモロコシに興味を持ち、2グループは葉よりもトウモロコシの粒に興味を持ち、3グループは葉やトウモロコシのヒゲに興味を持っている子が多かった。また、普段見たり実際に触れたりすることのない野菜だったためか、最初は少し抵抗のある子も見られたが保育士が実際に触れてみながら誘ってみると徐々に自分から手を伸ばして触れていた。また、保育士や友達の探究の様子を見て真似ている子が多かったように感じた。3グループでは初めはトウモロコシにしか興味がなかった子が隣にいた友達がヒゲに触れている様子を見て真似して触ってみたり、葉に興味を持っていた子が保育士が指でトウモロコシの粒をむしっているのを見て真似して爪で引っ掻いてみたりと他の子の様子に影響されている面が多かったように感じる。また、前々回の色々な葉に触れてみる活動では匂いに着目している子は少なかったが今回はトウモロコシや葉の匂いを嗅いでいる子が多かった。「いい匂いがする」「コーンの匂い」と子ども達から発せられる言葉も多かった。今回の活動では視・嗅・触の五感を使って探究活動を楽しんでいたため次回もまた違った野菜の葉に触れ、五感を使って楽しめるようなテーマを設定して探究活動を楽しんでいきたいと思う。